

2022年6月15日追加訂正

【誤謬・誤植訂正】

- p.34 下から8行目 artian⇒artisan
p.53 図3-3 《チュイルリー公園の音楽祭》
⇒《チュイルリーの音楽会》
p.53 次の行 Thuileries⇒Tuileries
p.73 6行目 大岡春朴⇒大岡春卜

2021年8月4日現在

【誤謬・誤植訂正】

- p.17 下から2行目 望まれる⇒臨まれる
p.22 下から7行目 水平線⇒地平線
p.24.9行目；p.25.7行目；p.26 図版I-10
キャプションおよび p.29 図版出典：《海浜
にて》(1873)⇒《ブローローニユの海浜にて》
(1868)
p.25 7行目 《海浜》にて⇒《海浜にて》
p.27 1行目 みいだした⇒回復した
p.35 下から2行目 印象⇒印象派
p.39 5行目 国威発揚⇒国民的矜持表明
p.41 参考文献、大島清次 浮世絵と印象
派⇒印象派と浮世絵
p.50 11行目 paroxisme ⇒ paroxysme
p.56[キーワード],p.60、11行 巻末索引「モ
ース」の項：シルベスター⇒シルヴェスタ
ー
p.61 図4-2-① 1890年5月号⇒3月号
p.69 下から3行目 Arts et métiers
p.71, 82 扉挿絵：ジベルニー⇒ジヴェルニ
ー
p.77 図5-7[伝]俵屋宗達 と訂正
p.87 下から3行目 勤務していた。
p.97 図6-3-③ 2行目 Portrait
p.100 最終行 植民地下 ⇒植民地治下
p.101 7行目 全体が単一の複合した生命を
——8行目 complete ⇒complex
p.103 3段落3行目 Japan ⇒ Japon
p.104 1行目 九鬼周造⇒九鬼隆一
p.108 下から6行目 帰国⇒渡印
p.114 最終行 Nocturn ⇒Nocturne
p.115 下から5行目 久住 ⇒ 久隅
p.115 下から3行目 (*2) はトル
p.117 第2段落最終行 (*3) ⇒(*2)
p.118 下から4行目
フェノロサ⇒ホイスラー

- p.120 第1段落下から7行(*4) ⇒ (*3)
p.124 注2 Epoches ⇒ Epochs
p.127 外宮⇒内宮 (鯉木に注意)
p.130 下から7行 snobisme となる
p.131 下から4行目 1462年の41回目の
建替に先立つ 123年間、神域は... ⇒
1462年の40回目の建替以降 123年間、内
宮の神域は...
p.135 5行目 1163年 ⇒1 345年
同一行 物質的 ⇒ 物質的
p.135 13-14行目 「宮内庁管轄の」をトル
ツメとする
下から9行目 1563年の第40回遷宮は
⇒ 1563年の第40回外宮遷宮(1434年の
39回目から129年後)は
p.141 6行目 プラデルラ ⇒
プレデルラ (ルは小さく)
p.147 第3段落1行目 欧米⇒英米
p.150 p.146の訂正と同じ
——図10-2 第3行 同上
p.151 図10-6 二行目 drip ⇒drop
——図10-7 2000 Years となる
p.152 下から4行目 Yuko ⇒Yukio
p.156 4行目 島崎藤村⇒島崎藤村の
p.185 12行 鬼頭 ⇒亀頭
p.191 最終行 Picaso ⇒Picasso
p.192 参考文献5番目の2行目
Jaapnese ⇒ Japanese
p.193 パースペクティヴ に訂正
p.196 下から2行目 「大作」のあと：
【本章扉挿絵】を補う
p.198 14行目 茶室⇒書齋、
その⇒この一畳敷を含む
p.200 3節3行目
須磨海浜公園⇒須磨離宮公園
p.200 第3段落 3-4行目：
2.4m と 2.7 m を入れ替える
p.202 13行 アジングラ⇒アジンクラ
p.207 図14-1 上野規宏⇒上野則宏
最後から4行目：Anatsu ⇒Anatsui
p.213 下から2行目 差し替え図版：
1893年12月24日⇒1903年7月18日
p.222 5行目 照映しつ、⇒ 照映しつ、
p.224 図15-5 Colloection⇒ Collection
p.227 時代錯誤 anachronisme となる

p.228 フォンテーヌブロー宮殿

Palais⇒ Château

p.232 索引「ボッティチェルリ」:

Bottichelli ⇒Botticelli に訂正

【図版指示訂正】

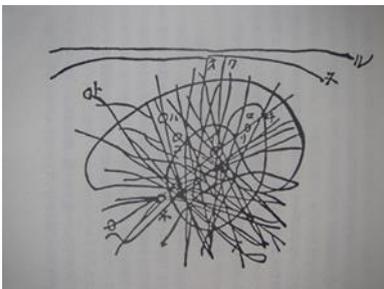
p.214/223 図 15-1 :

1903年7月18日の書簡 に訂正し、

*あわせて図版も差し替え【以下に図示】。

p. 223 図 15-1 土宜法竜⇒土宜法龍

出典:河出書房新社編集部編『南方熊楠 開かれる巨人』河出書房新社、2017年、12頁



【追加情報・補正】

p.29 ◆参考文献・追加:芳賀徹『平賀源内』朝日新聞社、1981年;朝日選書、1986年

p.111 ◆参考文献 以下追加:外川昌彦「ダルマパーラのブツダガヤ復興運動と日本人—ヒンドゥー教僧院長のマハントと英領インド政府の宗教政策を背景とした」『日本研究』, No.53 巻, 2016年、189—230

p.125 ◆参考文献、以下追加:

橋本泰幸『ジャポニスムと日米の美術教育—濃淡の軌跡』建帛社、2011年

【巻末】巻末「著者紹介」の最後に、以下を補う: 稲賀の論文などは以下参照:

<http://www.nichibun.ac.jp/~aurora/inaga/>